

氏名	関 川 孝 司
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 1802 号
学位授与の日付	平成10年3月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学（三）専攻 （学位規則第4条第1項該当）
学位論文題目	EXPRESSION OF INTERLEUKIN-8 IN HUMAN GLOMERULONEPHRITIS （ヒト糸球体腎炎におけるinterleukin-8の発現）
論文審査委員	教授 辻 孝夫 教授 原田 実根 教授 公文 裕巳

学位論文内容の要旨

【目的】 Interleukin-8 (IL-8)は好中球走化因子であり、腎炎患者の尿中高値が報告され、腎炎への関与が推測される。しかし、ヒト腎炎での検討はなく、今回、ヒト腎炎組織でのIL-8発現を検討した。

【方法】 ヒト腎生検組織でのIL-8のmRNA発現をRT-PCR法にて検討した。免疫組織化学的手法でIL-8蛋白も検討した。IgA腎症27症例、膜性腎症9症例、ループス腎炎9症例、糖尿病性腎症6症例を検討した。腎摘出腎の非腫瘍部3症例、病理学的異常のない3症例を正常群とした。

【結果】 正常群、膜性腎症、糖尿病性腎症患者でIL-8のmRNA発現を認めず、IgA腎症、ループス腎炎患者にIL-8 mRNAの発現増強を認めた。発現増強群でIL-8陽性細胞を認めた。IL-8mRNA発現値は好中球数と正の相関を、クレアチニンクリアランスと負の相関を認めた。

【結語】 IgA腎症、ループス腎炎でIL-8の発現が増強し、炎症細胞浸潤を介し糸球体腎炎の病態形成に関与することが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、ヒト腎炎組織でのIL-8のmRNA発現をRT-PCR法にて検討するとともに、免疫組織化学的手法でIL-8蛋白も検討したもので、正常群、膜性腎症、糖尿病性腎症患者でIL-8のmRNA発現を認めず、IgA腎症、ループス腎炎患者にIL-8 mRNAの発現増強を認めたと興味ある知見を得ている。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。